

損保 代理店シンポジウム

2018
6/8(金)
18:30~

この1年 代理店の声を国会に届けてきました

あらためて損保代理店の現状と未来を考えます

ご挨拶・国会報告

参議院議員 大門 実紀史さん
〈財政金融委員会〉
「国会での損保代理店問題の質疑をめぐって」

パネリスト

大谷 和之さん 滋賀県代協会長
損保ジャパン日本興亜 アイ・ホークス(株)代表取締役
森 隆さん 保険毎日新聞記者
防災士 著書:『証言 東日本大震災
~1兆2000億の地震保険金~』保険毎日新聞社 他
中村正行さん 日新火災海上OB
元近畿損害サービス部 部長

*会場からの発言大歓迎です。

基調報告

松浦 章さん 大阪損保革新懇世話人
兵庫県立大学客員研究員(経済学博士)
著書:『日本の損害保険産業-CSRと労働を中心に』桜井書

2016年5月に新たな保険業法が施行されてから2年。

この法律の目的は「顧客第一」の保険募集、そのための「代理店の自立」です。その趣旨に、「事故あり等級制度」や「代理店手数料ポイント制度」「乗合問題」など現在の損保各社の政策は合致しているのか？

そして、損保の労働現場への影響は？

国会でこの問題を数次にわたり取り上げられた大門議員を迎えて、多くの代理店、損保社員をはじめ、損保産業にかかわるすべてのみなさんとともに、損保産業の今と未来を考えたいと思います。

エルおおさか南ホール

(大阪府立労働センター 南館5階)

大阪市中央区北浜東3-14

地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から徒歩300m

資料代 1000円



大阪損保革新懇・代理店プロジェクト

大阪市中央区道修町3-3-10 日宝道修町ビル3階 電話: 06-6232-1095

e-mail: ossnpksk@gmail.com HomePage: <http://osakasompo.perma.jp/>

「乗合拒否」させるな

大門氏 損保業界への指導迫る

大門実紀史議員は23日の参院財政金融委員会で、三井住友海上火災が代理店の「乗合」



質問する大門実紀史議員 23日、参院財金委

を拒否する通達を出していた問題で、金融庁に業界への指導を求めました。

近年、複数の損保会社の商品を扱う「乗合」に移行する代理店を大手損保会社が拒否し、中小代理店の経営を苦境に追い込んできました。昨年、大門氏は国会

でこの問題を3回取り上げたのを受け、金融庁も大手損保や代理店などに聞き取り調査や改善指導を進め、姿勢を改める大手損保も現れ始めました。ところが三井住友海上火災が昨年12月、「乗合拒否」の徹底を求める社内通達を出しました。

内部告発を受けた大門氏は、金融庁立ち会いのもと同社に直接是正を求めたところ、同社はただちに通達を撤回。今後は基本的に「乗合」を認める方向でマニュアルを改訂するとも約束しました。同委で大門氏は今回の経過に触れ、同庁に対し「他の大手損保でも同じことが起きないように改善を促してほしい」と要請。麻生太郎財務相は「『乗合』拒否の通達撤回は」まともな話。この方向で進めていただければ」と感じました。

しんぶん赤旗より

「代理店プロジェクト」とは

代理店の置かれた現状について、「意見交換の場を設定しよう」と論議を始めたのは2008年2月です。「代理店プロジェクト」と銘打ったこの代理店有志の集まりは、今年4月で85回を数えました。「代理店も社員も会社もともに伸びよう」という、産業全体の健全な発展を望む立場から、近畿財務局とも8年間交渉を重ねています。

終了後、会場近くで懇親交流会を開催します。

多氣 (たき)

参加費 3,000 円

大阪損保革新懇・代理店プロジェクト

大阪市中央区道修町3-3-10 日宝道修町ビル3階 電話：06-6232-1095

e-mail: ossnpksk@gmail.com HomePage: <http://osakasompo.perma.jp/>